

少数台数のリコール届出の公表について (令和5年5月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和5年5月は4件の届出がありましたので公表します。

1. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月11日	5320	車名：三菱 型式：5LA-GNOW 通称名：アウトランダーPHEV	74	令和4年10月18日～ 令和4年10月19日
不具合の部位等	後輪ブレーキキャリパーにおいて、ボルトの締結工具の破損に気付かないまま締め付けを行ったため、規定トルクで締め付けられていないものがある。規定トルクに満たない車両については、保安基準第12条(制動装置の基準の内、取り付け要件)に適合しないおそれがある。			

2. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月11日	外 3607	車名：メルセデス・ベンツ 型式：3DA-463349 通称名：G350d 他	3	令和元年8月22日～ 令和元年9月18日
不具合の部位等	ディーゼルエンジンに搭載されているクーラントポンプにおいて、軸受けシールの設計が不適切なため、作動の制御が行われている負圧回路へ冷却水が浸入し、負圧回路の関連部品が作動不良を起こすことがある。そのため、エンジン警告灯(MIL)が点灯する、出力が低下する、ブレーキ倍力装置の機能が低下する等の不具合が発生し、排気ガスの再循環装置(EGR)制御用の電磁バルブに作動不良が発生した場合においては、MIL点灯と共に排ガスが悪化し、更に短絡が発生すると発熱して周囲を溶損させることで、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

3. 届出者：株式会社 タダノ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月15日	5318	車名：日野 型式：2DG-FS1EHA 通称名：日野 プロフィア	10	令和3年5月22日～ 令和4年11月11日
不具合の部位等	高所作業車の緩衝装置において、設計時の可動範囲の想定が不十分なため、作業台（高所作業装置を載せた台）と後軸トルクロッドとの隙間余裕が少ないものがある。そのため、悪路走行等、緩衝装置が大きく可動した場合、作業台と後軸トルクロッド、トルクロッド周辺のホースクランプが接触するおそれがある。そのままの状態で使用を続けると、接触部に打痕等の損傷が生じるおそれがある。			

4. 届出者：マセラティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月19日	外 3568	車名：マセラティ 型式：7AA-MLE20 通称名：レヴァンテ	65	令和3年9月7日～ 令和3年12月8日
不具合の部位等	48 ボルトハイブリッドシステムにおいて、プラス端子および、アースケーブル端子の締め付けが不適切なため、接触不良となるものがある。そのため、ハイブリッドシステム不具合の警告が表示され、最悪の場合、接触抵抗が増えることで発熱し、火災にいたるおそれがある。			

【参考】

●令和5年5月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	10 (-2)	8 (-2)	2 (±0)
輸入車	7 (-6)	5 (-1)	2 (-5)
計	17 (-8)	13 (-3)	4 (-5)

※ () 内は、対前年度同月比

●令和5年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(+1)	11(-10)	28(-9)	409,601(-114,826)	51,160(+44,437)	460,761(-70,389)
5	10(-2)	7(-6)	17(-8)	284,822(+36,629)	17,802(-5,317)	302,624(+31,312)
小計	27(-1)	18(-16)	45(-17)	694,423(-78,197)	68,962(+39,120)	763,385(-39,077)

※ () 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・筑紫 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
